

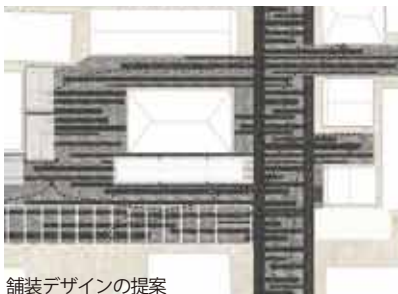
特集 1: 保土ヶ谷区における活動、充実化。

2013年に締結した保土ヶ谷区と横浜国立大学との連携協力協定を踏まえて、従来から活動していたプロジェクト、および今年度からの委託事業による活動・研究が充実化。本紙では、その一部の成果を紹介。

■ 旧東海道沿道の景観・賑わいづくり

地域課題実習「In Between city PJ」+ Y-GSA + 建築 EP「地域環境計画演習」
(担当：野原卓，藤原徹平，志村真紀)

天王町駅から保土ヶ谷西口商店街に至るエリアにおける、歴史的な街道、参道、そして川が並列や交差する「ラダー（はしご）構造」を見出し、この構造を骨子とした景観づくりをメインに、その周辺を含む活性化案を提案。



■ くぬぎ台小跡地利用を契機とした周辺地域の活性化

都市イノベーション研究院「持続型集住論」+「建築環境共生論」+ Y-GSA
(担当：藤岡泰寛，田中稲子，藤原徹平)

丘陵地の高台に位置する旧くぬぎ台小学校を拠点に、その周辺の活性化策として「農と食」「グリーンストラクチャー」や、この地域の古民家の温熱実測を踏まえた住空間の提案、そして生活道路の勾配マップ等の研究成果を提示。



特集 2：神奈川県への提言 P1 「県民総力戦で創る事前復興計画」

2013～2014 年度にかけて、神奈川県と連携しながら「県民総力戦で創る事前復興計画」の研究と提案を進めています。年に数回のミニサロンでは研究成果が発表され、大学院講義「地域創造論」のグループワークでは学生からの提案がまとめられています。

第 1 回 ミニサロン

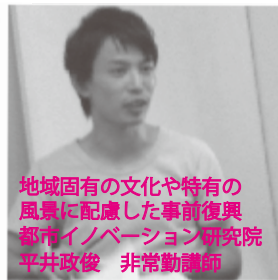
2013.8.21 「震災をめぐる課題の整理」



在日外国人のための防災・危機管理システムの整備
都市イノベーション学府
楊 祥 博士課程後期 1 年



水と森をめぐる
上下流地域間連携
経済学部
池島祥文 准教授



地域固有の文化や特有の
風景に配慮した事前復興
都市イノベーション研究院
平井政俊 非常勤講師



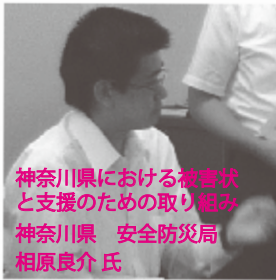
応急仮設住宅の建設実態
都市イノベーション研究院
江口亨 助教



都市計画分野からの提言
について
都市イノベーション研究院
高見沢 実 教授



建築分野からの提言について
都市イノベーション研究院
佐土原 聡 教授



神奈川県における被害状
と支援のための取り組み
神奈川県 安全防災局
相原良介氏



分散型エネルギーと環境設計
経営学部
大森明 准教授



長期避難からの帰還を可能に
する複線型の事前復興計画
都市イノベーション研究院
藤岡泰寛 准教授



農村地域における
地産地消型電力供給事業の設計
環境情報研究院
嶋海大典 准教授

第 2 回 ミニサロン

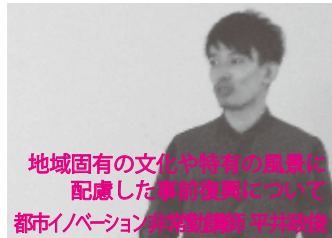
2013.12.13

「復興まちづくりの現場から考える」

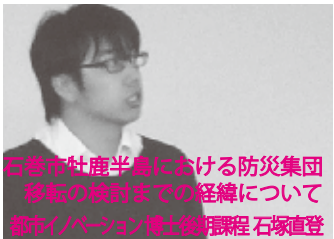
石巻市の被災地において復興計画や実務に関わっているメンバーから、現場の進捗報告と、今回の復興にて意識化された復興まちづくりの観点、そしてその観点を踏まえた神奈川県の事前復興について行政や市民と議論しました。



石巻市市役所大通りの取組み
都市イノベーション 准教授 野原卓



地域固有の文化や特有の風景に
配慮した事前復興について
都市イノベーション非常勤講師 平井政俊



石巻市牡鹿半島における防災集団
移転の検討までの経緯について
都市イノベーション博士後課程 石塚直登



石巻市牡鹿半島における
国立公園化事業による復興について
地域実践教育研究センター准教授 佐竹真紀

第 3 回 ミニサロン

2014.3.20

「森と都市（マチ）をつなぐ」

今は断絶している森と都市の関係を結び直すことによって、地域資源を活用した事前復興の取り組みが可能になるのではないかとという視点から、神奈川県の水源環境税の課題や林業振興が抱える課題が整理されました。



神奈川県水源環境税の取組みの
課題と展望
国際社会研究院 准教授 伊集守直



事前復興としての森と都市（マチ）の関係構築について

国際社会研究院 准教授 池島祥文
林業振興による水源林保全 林業家 杉山精一氏
神奈川県森林の位置づけと今後の展望 木材ライター 赤堀楠雄氏

外部評価モニターから一言

地域創造科目「地域創造論」の感想

横川 満さん

「地域創造論」の立つ場を学際的な場に置きながら、授業を展開してきたことは大いに評価できます。人間社会は、複雑化、高度化しています。そのような中で、学問の体系を学際的に組み替えることには必然性があり、大賛成です。

地域の課題には、複雑多岐の背景があります。学際的な場に立ちながらのクリエイティブな発想と実働が結び付くよう、地域創造論が益々進化を遂げ、地域の課題解決に貢献できるよう祈願いたします。

*外部評価モニターとは、一般公募いただいた地域の方々から構成され、本学が地域のなかで信頼を確立する礎となる心強い応援組織となっています。

Information & Schedule

● 保土ヶ谷区から区内を対象とした活動・研究への補助金支援（公募）

6月6日～6月20日（※切）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/kokudai-partnership/hojyokin/>

● 地域課題実習 発表会・交流会

6月13日（金）16:30～18:45

場所：中央図書館メディアホール

発行：横浜国立大学 地域実践教育研究センター

URL: <http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp> / MAIL: chiki-ct@ynu.ac.jp / TEL+FAX: 045-339-3579